

3. 出願手続

出願には Web 出願システム入力、選考料納入、および出願書類の郵送が必要です。期限までにいずれか一つでも完了しなかった場合は出願が認められないのでご注意ください。

【研究テーマ相談(研究室訪問)について】

研究テーマ相談(研究室訪問)について、下記 URL でご案内しています。心理学専攻・映像身体学専攻に出願予定の方は必ずご確認ください。

<https://cp.rikkyo.ac.jp/news/2022/d71f68000000joi.html>

【出願手続に関する注意事項】

1. 出願についての問い合わせは、学部事務 5 課現代心理学研究科入試担当 (ccp@rikkyo.ac.jp) で受け付けます。なお、出願受付締切日の問合せ受付は 16:00 までに受信したメールが対象となりますのでご注意ください。
2. 入学時に健康診断を行いますので健康診断書は提出する必要はありません。
3. **出願資格「第 10 項」で出願する者**は、出願に先立って必要書類を提出し、出願資格審査を受けてください(4 頁参照)。
4. **「社会人入学試験」「外国人入学試験」を受験する者**は、出願に先立って必要書類を提出し、受験資格審査を受けてください(5 頁参照)。
5. 病気・負傷、身体の機能に著しい障がいがある等の理由により、**受験に際して特別な配慮を必要とする者**は、2022 年 8 月 26 日(金)までを目途に学部事務 5 課現代心理学研究科入試担当に問い合わせ、「受験上の配慮申請書」を提出してください。申請書は本学大学院 Web サイトよりダウンロードできます。なお、障がいの状況によっては、研究科・専攻に寄りカリキュラムの履修が事実上不可能な場合もありますので、この点についてもあわせて問い合わせてください。

1) 出願受付期間

出願受付期間	2022 年 9 月 6 日(火)～9 月 12 日(月)
--------	-------------------------------

【出願受付期間に関する注意事項】

1. Web 出願システムは 9 月 6 日(火) 0 時 00 分から、9 月 12 日(月) 23 時 59 分まで入力可能です。ただし、出願書類の郵送で使用する出願用封筒表紙は Web 出願システム入力および選考料納入の完了後に出力可能となるため、**余裕を持って Web 出願システム入力と選考料納入を完了してください。**
2. 出願書類の郵送の締切は、**日本国内から出願する場合は出願受付締切日の郵便局消印有効、日本国外から出願する場合は出願受付締切日必着**です。
3. 期限までに出願手続が完了しなかった場合は出願を認めません。

2) Web 出願システム入力および選考料納入

【Web 出願システム入力および選考料納入の流れ】

1. 下記 URL より Web 出願システムにアクセスし、システム利用登録を行ってください。入力にあたっては別添の「入力画面の見本」を確認のうえ、必要な情報を漏れなく入力してください。
Web 出願システム URL : https://ientry4.jp/Rikkyo_m/index.aspx
「入力画面の見本」掲載ページ : <https://guidelines.rikkyo.ac.jp/daigakuin2023/cp/>
2. Web 出願システム上にて、**クレジットカード払い**で選考料 (35,000 円) および事務手数料 (1,500 円) を納入し、選考料納入を完了してください。

【Web 出願システム入力および選考料納入に関する注意事項】

1. Web 出願システム入力と選考料納入だけでは出願手続きは完了しません。**必ず期日までに出願書類を郵送してください。**
2. Web 出願システムは9月6日(火)0時00分から、9月12日(月)23時59分まで入力可能です。ただし、出願書類の郵送で使用する出願用封筒表紙は Web 出願システム入力および選考料納入の完了後に出力可能となるため、**余裕を持って Web 出願システム入力と選考料納入を完了してください。**
3. Web 出願には**メールアドレス**(自身が日常的に確認するメールアドレス)、**顔写真データ**、**利用可能なクレジットカード (VISA/MASTER/JCB/AMEX/DINERS)**が必要になります。事前に準備してください。
4. Web 出願システムは出願受付締切日の23:59(日本時間)まで入力作業が可能です(以降は入力できなくなります)。
5. Web 出願システムは入力開始から180分以上経過すると、自動的にタイムアウトになります。入力内容は保持されず、再入力が必要となりますのでご注意ください。
6. Web 出願システム入力および選考料納入の完了後、**手続完了のメール**が本学より送信されますので**決済の控え**として保管ください。

【選考料に関する注意事項】

1. 選考料納入は Web 出願システムで受け付けます。現金、郵便為替等での出願は受け付けません。
2. 一度納入された選考料は返還しません。ただし、下記(1)に該当する場合は返還しますので、下記(2)に従って手続を行ってください。

(1) 選考料の返還ができる場合

- a. 選考料を納入したが、システムの入力や出願書類を提出しなかった。
- b. 選考料を納入し、システムの入力と出願書類を提出したが、出願が受理されなかった。
- c. 選考料を誤って二重または過剰に納入した。

(2) 選考料の返還手続方法

学部事務5課現代心理学研究科入試担当(ccp@rikkyo.ac.jp)に問合せのうえ、次の書類を締切日までに到着するように提出(郵送)してください。なお、返還には書類到着後1か月程度かかります。

<提出書類>

選考料返還請求願（本学所定用紙。問合せいただいた方に送付します。）

<提出締切日>

2022年9月30日（金）必着

<書類郵送先>

〒352-8558 埼玉県新座市北野 1-2-26

立教大学 新座キャンパス 学部事務5課 現代心理学研究科入試担当 宛

<注意>

提出締切日までに必要書類を提出できない場合や、提出書類の記載内容に不備・誤りがある場合は、選考料を返還できない場合があります。

3) 出願書類の郵送

1. 以下の出願書類を所定の出願受付期間内に郵送にて提出してください。Web 出願システム上でのアップロードは不要です。
2. 出願書類の郵送の締切は、**日本国内から出願する場合は出願受付締切日の郵便局消印有効、日本国外から出願する場合は出願受付締切日必着**です。
3. 出願書類の郵送の際は、**出願用封筒表紙**（Web 出願システム入力および選考料納入完了後に出力可能となります）をカラーで印刷のうえ市販の角形2号封筒（240×332mm）に貼り付けたものを使用し、**簡易書留・速達**で郵送してください。
4. 出願用封筒表紙をカラーで印刷できない場合は、出願用封筒表紙上部の「**速達**」部分を以下のように赤線で囲んでください。



【出願書類】

	出願書類	内容
1	成績・単位証明書	出身大学が発行したもの。本学卒業（見込み）者は不要。
2	卒業（見込）証明書	出身大学が発行したもの。本学卒業（見込み）者は不要。なお、出願資格「第2項」（3頁参照）によって出願しようとする者は欄外の注意事項を参照すること。
3	研究計画書	所定の用紙の注意事項に従って日本語で作成したもの。所定の用紙は下記 URL に掲載。 https://guidelines.rikkyo.ac.jp/daigakuin2023/cp/
4	Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate	<中国の教育機関を卒業した者のみ提出> 中国の教育機関を卒業された方は、出身大学が発行した証明書に加えて、CHSI（中国高等教育学生信息网）が発行する英文の「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」について、CHESICC から現代心理学研究科入試担当

		<p>(ccp@rikkyo.ac.jp) にメールで直送されるよう手配してください。 詳細は CHESICC の Web サイト (https://www.chsi.com.cn/en/pvr/) をご確認ください。</p> <p>なお、必ず出願受付締切日までに本研究科へ「Online Verification Report of Higher Education Qualification Certificate」が届くよう、余裕を持って準備してください。</p> <p>また、CHESICC から直接メールで届いた証明書のみを有効とします。 志願者本人からメールで送付された証明書は受け付けできません。</p>
5	学士の学位取得（見込）を証明する書類	<p><出願資格第6項による志願者のみ提出> 出身大学が発行したもの。「卒業（見込）証明書」に記載されている者は提出不要。</p>
6	英語資格・検定試験のスコア・級に関する証明書、およびメモ	<p><心理学専攻志願者で提出を希望する志願者のみ提出> 原本各1部、および筆記試験「英語」の受験希望有無を記載したメモ（書式自由）を提出すること。対象となる英語資格・検定試験、および入学試験における扱いは「心理学専攻の入学試験について」（13頁）を参照のこと。</p>
7	制作物、制作物表紙・制作物概要	<p><映像身体学専攻志願者〈制作系〉のみ提出> 各3部。詳細は「5）制作物について（11頁）」を参照のこと。</p>
8	日本語能力試験 N1 認定結果に関する証明書	<p><下記に該当する志願者のみ提出> 映像身体学専攻〈制作系〉の志願者で、日本語を母語とせず、日本の大学または大学院を卒業・修了していない者。受験の年月日は問わない。</p>
9	退学証明書	<p><本学退学者のみ提出> 本学（大学院を含む）を退学した者が再び入学する場合は、入学金を2分の1相当額とするので、退学証明書を提出してください。出願期間内に提出された場合のみ入学金を減免します。なお、提出された証明書は、在籍の確認以外の用途では使用しません。 ※ 本学卒業（見込み）者および本学大学院修了（見込み）者は、志願票（A票）の出身校記入欄への記入をもって、入学金を2分の1相当額とします。</p>

【出願書類に関する注意事項】

1. 一度提出された出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。
2. 各種証明書は原則として日本語または英語による原本を提出してください。その他の言語による場合は、出願に先立って学部事務5課現代心理学研究科入試担当へ問い合わせてください。
3. 証明書記載の氏名が、現在の氏名と異なる場合は、氏名変更を証明する公的な書類（戸籍抄本等でマイナンバーの記載が無いもの）1通を添付してください。提出された書類は同一人物であることの確認以外の用途では使用しません。なお、入学後に「旧姓使用」「通称使用」「別名併記制度に基づく氏名使用」を希望する者は、届け出により許可されます。詳細は合格者に対して送付する書類を参照してください。
4. 2022年秋季入試の受験資格審査で受験資格を得た者については、受験資格審査時に提出した書類を再び提出する必要はありません。
5. 出願資格「第2項」（3頁参照）によって出願しようとする者は「卒業（見込）証明書」として次に定める書類を提出してください。

対象者		提出書類
学士の学位を授与された者		学位取得証明書
学士の学位を授与される見込みの者	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構が認定した短期大学の専攻科または高等専門学校専攻科に在籍する者	志願者が在籍する学校の修了見込証明書および学位申請する予定である旨を学校長が証明した証明書
	上記以外の者	独立行政法人大学改革支援・学位授与機構発行の学位申請受理証明書

4) 受験票の発行

出願手続き完了者には10月3日(月)11:00頃にWeb出願システムで「受験票」を発行します。「受験票」はWeb出願システムのマイページ(下記URL)からダウンロードできますので、入学試験当日までに「受験票」をプリントアウトし、入学試験当日に必ず携帯してください。なお、スマートフォン・タブレットなどでの提示は認めません。また、受験票は合格発表、入学手続きまで必要になりますので入学試験受験後も大切に保管してください。

https://ientry4.jp/Rikkyo_m/MyPageLogin.aspx

5) 制作物について(映像身体学専攻<制作系>志願者のみ)

映像身体学専攻志願者で<制作系>を選択する者は、出願の際に下記の「制作物」を他の出願書類に同封して提出してください。本学卒業(見込み)者も同様です。また、日本語以外の言語で作成した「制作物」には、日本語による要約を添付してください。

【制作物】

「卒業制作(映像身体学にかかわるDVD等)またはこれに準ずるもの」のコピー3部を提出してください。提出にあたってはすべての提出物に氏名を明記してください。また、その「制作物概要」を新たに作成し、「制作物表紙」(<https://guidelines.rikkyo.ac.jp/daigakuin2023/cp/>)に掲載)に必要な事項を記入のうえ表紙として添付してください。「制作物概要」とは、制作年月日、制作場所、制作者、撮影者等を含む制作物内容の紹介、説明、意義等をA4判1枚にまとめたものを指します。

なお、映像等のデータを提出する場合は、MP4形式などWindowsの標準ソフトで再生可能な形式に変換してDVD等に保存して提出してください。

制作物をコピーできない事情がある場合は、出願に先立って、学部事務5課現代心理学研究科入試担当に相談してください。また、制作物を他の出願書類に同封できない場合は、出願書類に「別便あり」と記載したメモを同封し、出願書類とは別に「出願用封筒表紙」を貼付した封筒にて簡易書留・速達で郵送してください。

【「卒業制作またはこれに準ずるもの」に関する注意事項】

「卒業制作」として大学に提出した(または提出予定の)ものであることを原則としますが、「卒業制作」とは別の「制作物」による評価を希望する者は、新たに「制作物」を作成して提出することも可能です。なお、以下の場合にはそれぞれの指示に従ってください。

(1) 「卒業制作」がない場合

大学在学中または卒業以後の「制作物」を提出して審査を受けることが可能です。

(2) 「卒業制作」の内容が映像身体学専攻とまったく異なる分野の場合

「卒業制作」の内容が映像身体学専攻の研究教育内容と何ら接点を持たない場合は、映像身体学分野の「制作物」を新たに作成して審査を受けることが可能です。なお、「卒業制作」が、映像身体学分野とは異なるが、映像身体学専攻と一定の関連があると考えられる場合は、「研究計画書」にその旨を詳述してください。

(3) 「卒業制作」が複数ある場合

2つの大学を卒業した場合や、学部と異なる分野の大学院を修了して、「卒業制作」と「修了制作」がある場合などは、複数の「制作物」の中から、受験者が評価の対象として希望するもの1つを提出してください。